

autoCULT

Mercedes-Benz O3750 Stromlinienbus (ドイツ, 1936)

バス

Scale 1/43

#10008

available

10/2021

Limited edition 333 Stk.



204 mm

フェッターのオムニバス

1930年代、バス業界は、当時の乗用車業界が経験した革新的生産増大をまったく経験していなかった。これはおそらく2つの大口顧客しかいない市場を容易に管理できたことと、その郵便と鉄道の両者が過度の革新を要求しなかったという事実によるものであった。大型重量バスの設計は長年に渡ってほとんど変わっていなかった、6シリンダーディーゼルエンジンが前車軸の上に取り付けられ、ほぼ100hpを生成し、2軸バスを時速100kmに加速でき、座席にもよるが32から43人が一度に乗車できた。1930年代半ばから鋼板製のボディの製作が確立され、独立したボディショップの将来が見えてきたのだった。

ボディショップの1つに"ワルター・フェッター車体&車両製造"があった。会社の所有者であるワルター・フェッターは1922年に会社を設立し、早い段階でメルセデス・ベンツシャーシーの為の特別なデザインを奨

励していた。そのためこの小さな会社はバスのボディの製造に特化し始めた。ワルター・フェッターは当時の流行のテーマであった流線型デザインが気に入っていた。彼がこのテーマにどれほど魅了されたかは、バスでの実装のためにパウル・ヤーライからライセンスを取得したという事実が物語っている。ただしそのシュヴァーベン工場だけがそのアイデアを採用したわけではなかった、ケスボーラー社もまた流線型デザインを将来に見据えていたのだった。

メルセデス・ベンツが1937年からバスを改装し始め、100hpのディーゼルエンジンを搭載したO3750を発売した1939年、フェッターはパウル・ヤーライのガイドラインに従ってそれらのバスの一つを革命的に改造した。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de